

前号の古墳の数でこの県が一番多いのかという質問がありました。一番は兵庫県、次が千葉県、鳥取県、福岡県の順となります。

穴に頭を突っ込み懐中電灯で中を照らしても、真つ暗な中で照らされるのは池から流れ込んだゴミや不規則に積み上げられた石だけでした。春先とはいえ、その中に入るのには勇気のいるもので



この古墳に、そこまでするほど良いものが入っているのか、次回は古墳から出土した遺物を紹介したいと思えます。 教務課文化財保護係 塩濱 浩之

古墳調査日誌2 前号に引き続き、大池公園の発掘調査中の古墳の説明を致します。前に紹介した古墳は普段は水没しており、池の水が減った時でないと姿を現さなかったのですが、今回紹介する古墳は、池の上の土にしっかりと墳丘(盛り土)が確認できました。しかしながら肝心の古墳の入り口はやはり水の下で、池の水の少ない時期でしか調査はできませんでした。

古墳調査日誌2

上毛風土記 Vol.112



イラスト 絵本製作委員会

す。しかし中に入ってみると、石室は崩落しておらず立派に残っていました。天井までは約2mもあり、大人が立つても余裕のあるものでした。懐中電灯で照らすと石の隙間には無数のゲジ(ゲジゲジ)があり、その対策とゴミの除去が最初の作業となりました。ゴミを片付けて石室を煙で燻すとゲジやクモ、ムカデなどが盗掘口からウヨウヨと出て行きました。石室内に不自然に積み上げられた石は、実は石室内に敷き詰められた敷石だったので、盗掘の際に石を動かして間に落ち込んでいた遺物まで根こそぎ持つて行ったようです。

緑の募金キャンペーン

上毛町緑づくり協議会が緑化運動の一環として、「緑の募金キャンペーン」街頭募金を実施しました。募金活動にご協力いただいた方には、ツツジやブルーベリー、アジサイ、ギンバイカなどの苗木を配布しました。集められた募金は、当協議会を通じて(公財)福岡県水源の森に積み立てられ、公共施設の緑化の推進や健全な森林づくりに役立てられるほか、小・中学校や行政区単位で取り組む地域緑化事業の助成金として活用されます。郷土の豊かな緑を守り、育てていくため、今後とも「緑の募金」活動にご協力をお願いします。

実施期間	場所	募金額
3月21日(土)~4月5日(日)	西友枝体験交流センターゆいきらら	16,920円
4月18日(土)~19日(日)	さわやか市「大平」	27,343円
5月2日(土)	道の駅「しんよしみ」	27,878円
合計		72,141円

●問い合わせ先 産業振興課 農政係 TEL 72-3111(内線188)



さわやか市「大平」 ☎72-3945

道の駅「しんよしみ」 ☎84-7077

こうげ武楽里大平楽 2周年感謝祭

4月18日(土)・19日(日)、さわやか市「大平」前広場にて、こうげ武楽里大平楽2周年感謝祭が開催されました。旬のアサリを使った貝汁や野草天ぷらのふるまいはじめ、さわやか市「大平」出荷者協議会による餅つきが行われました。また、ステージでは、友枝神楽の舞いや餅まきなどが行われ、大賑わいとなりました。遠方からの来客者も多く、たくさんの方に上毛町の魅力を知っていただきました。



道の駅「しんよしみ」 春の出荷者祭り

5月2日(土)、道の駅「しんよしみ」で、春の出荷者祭りが開催されました。上毛町工芸部会による竹馬遊びや工芸体験コーナー、出荷者協賛によるお宝バザーなどが実施され、子どもから大人まで楽しめるお祭りとなりました。特に、お宝バザーでは、現在入手しにくい珍しい商品もあり、訪れた人は昔を懐かしんでいました。

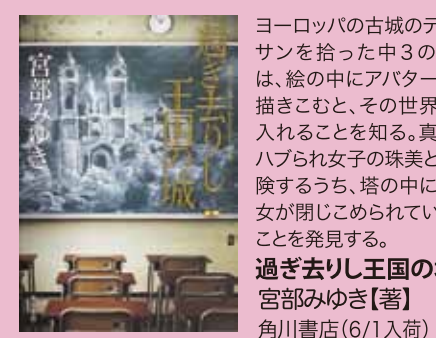


図書館だより

げんきの杜図書館 TEL 72-1633

図書館開館日のお知らせ

火曜日~土曜日 10:00~18:00
日曜、祝日 9:00~17:00
休館日/月曜日(毎週)・月末(変更あり)



ヨローロッパの古城のデザインを拾った中3の真は、絵の中にアバターを描きこむと、その世界に入れることを知る。真はハブられ女子の珠美と冒険するうち、塔の中に少女が閉じこめられていることを発見する。 過ぎ去りし王国の城 宮部みゆき【著】 角川書店(6/1入荷)

考え方ひとつで人生は変わる	稲盛和夫【著】	PHP研究所 (6/1入荷)
はじめてでもおいしくできる梅干し・梅レシピの基本	小川睦子【監修】	朝日新聞出版 (6/1入荷)
ななつ星極秘作戦	西村京太郎【著】	文藝春秋 (6/1入荷)
ごんたくれ	西條奈加【著】	光文社 (6/1入荷)
おでかけすいぞくかん	阿部浩志【ぶん】	学研教育出版 (6/1入荷)

環境ポスター入選作品



西吉富小5年 すえひさ たつや 末久 達也
上毛中2年 とくなが みき 徳永 実希

環境標語入選作品

さいりょう 服をおさがり いいかんじ 唐原小4年 おくむら ゆき 奥村 友希
守りたい ぼくの好きな 山と川 たつかわ ゆうた 立川 優太
ほたるさん きれいな川の 管理人 やぎ かなこ 八木 伽奈子

※学校・学年の表記は、3月時点のものです。

地産地消レシピ



けんちん汁

- 材料 6人分
- 木綿豆腐 1/2丁
 - 鶏もも肉 150g
 - 油揚げ 1枚
 - 里芋 3個
 - 大根 5cm
 - にんじん 1本
 - ごぼう 1/2本
 - こんにゃく 1/2枚
 - ねぎ 少々
 - だし 5カップ
 - 酒 大さじ2
 - しょうゆ 大さじ2
 - 塩 小さじ1/2
 - ごま油 少々

- 豆腐は手でぎっくりつぶしざるにあげます。鶏もも肉は小さめの一口大に切ります。油揚げは縦半分に切ってから細切りにします。
- 里芋は皮をむき、輪切りにします。大根とにんじんはいちょう切りに、ごぼうはさがきにし、長ねぎは小口切りにします。
- 鍋にだし汁と材料を加え、アクを取りながら煮込みます。
- 野菜に火が通ったら(里芋にくしがすと通るくらいが目安)酒・醤油・塩で味を調え、最後にごま油をひとたらしし、器に盛ってねぎを散らしたらでき上がり。

●問い合わせ先 食育のまちづくり推進会議(教務課 学務係) TEL 72-3111(内線175)